

【英語科】学習指導案

日 時 平成19年 10月12日(金) 公開授業1
生 徒 3年 A組 男子 18名 女子 17名
指 導 者 川村 信哉 Damien Lewis

1 単元名 New Horizon English Course 3 Unit 5 Starting Out

2 単元について

(1) 教材観

本単元では携帯電話の使用について取り上げられている。携帯電話は今日社会的な関心事となっており、中学生にとっても身近な話題の1つと言えると思う。Reading for communication で携帯電話の使用をめぐる議論が設けられている。電話の歴史から話題がスタートし現代の携帯電話についてインターネットの掲示板で意見を求めるなど中学生が興味を持つような場面設定であると考えられる。

Starting Out(本時)では電話の歴史の写真が現在分詞および過去分詞による後置修飾で紹介されている。Dialog では間接疑問文が基本文となっている。後置修飾と間接疑問文は Unit6 の学習内容にも関わってくる要素が含まれるため、この単元で基本文をしっかりと定着させることで今後の学習活動が深まると考える。

基本文の文の構造を理解することはもちろんであるが、身近なことに置き換えて英語で表現する活動を取り入れることで生徒の学習意欲を高めていきたい。

(2) 生徒観

3年A組の生徒は素直な生徒が多い。英語学習において落ち着いて取り組むことのできる生徒である。真面目に取り組んでいるが、自分の意見や学習内容を発表する段階になると消極的な場面が見られる。

アンケートによると「英語は好きですか。」という質問に対しては19人の生徒が「好きである」と答えている。男子に苦手意識を持っている生徒が多い。「英語学習において不安なことは何ですか」という質問に対しては「書くこと」が17人「聞くこと」が15人であった。

今年度実施したNRT教研式学力検査の結果では、5段階の生徒が2人、4段階が8人、3段階が15人、2段階が7人、1段階が2人であった。4領域の中では「書くこと」が最も落ち込んでいる。特に「基本的な英語や英文を書くこと」という項目については、平均を下回っていることがわかった。実態から「書くこと」を授業の中で継続して取り組むように指導してきている。

学習事項をノートやプリント等を書いて練習するのは基本であるが、書く活動の前に口頭練習をして書くことと、動機付けとして学習事項を身の周りのことや、自分のことに置き換えて書くように自己表現活動を取り入れることにより、生徒の「書くこと」への苦手意識を軽減していきたいと考える。

(3) 指導観

「個に応じた手だてについて」

実践的コミュニケーション能力の育成において、音声面中心の学習活動は必然であると考えられる。まずは、相手が話していることを聞くことから始まり(聞くこと)、考えて話し相手に伝える(話すこと 英語を使ったという実感を持てる)そして定着を図るために書く活動(書くこと)を授業の基本スタイルと考えている。各月ごとに目標を持たせ、7月～8月は副教材等も活用しながら1年生からの基本文の復習を行った。(全校トレーニング、朝学習の活用)9月～10月は自己表現活動をねらいとしており、10月はShow and Tellの形式で発表できるように指導したいと考える。ALTが放課後等を活用し一人一人行うこととし、身の周りのこと(写真等を使う)を英語で説明できることを目標とし、評価したい。本時の基本文も英文の中にも含むように指導したい。

3年間の学習活動のまとめの時期に入ろうとしており、このユニットは生徒の実態から自己表現を加えて指導し、生徒の力を伸ばそうと考えている。本時の基本文である現在分詞および過去分詞による後置修飾の文を取り入れて英文を作ることを指導していきたい。

学習形態をペアまたは3人にして教えあう場面を設定し、学習を深めていきたいと考えている。またALTはAの生徒を、JTLはB～Cの生徒を中心に指導にあたりたいと考えている。

「評価の生かし方」について

- ・自己評価ノートを活用し定着度を知り適切な助言や指導を行う。
- ・ALTからの生徒一人一人への評価をワークシートに記載したり、コメントを行う。

3 単元の目標

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

- ・現在分詞および過去分詞を用いた表現の言語活動に意欲的に取り組んでいる。
- ・間接疑問文を持ちいた表現の言語活動に意欲的に取り組むことができる。
- ・英語で議論することに興味関心を持つことができる。

【表現の能力】

- ・現在分詞および過去分詞による後置修飾の簡単な英文を読んだり、書いたりできる。
- ・携帯電話の使用について自分なりの意見を相手に伝えることができる。

【理解の能力】

- ・現在分詞および過去分詞による後置修飾を含んだ英文を読んだり、聞いたりしてその意味を言うことができる。

【言語や文化についての知識理解】

- ・現在分詞および過去分詞の後置修飾について理解し正しく使うことができる。

4 単元・題材の指導計画

- (1) Starting Out 1/1.5 (本時)(単元の到達目標と学習内容の確認を含む)
- (2) Dialog 1
- (3) Reading for Communication 3
- (4) Listening Plus 5 1
- (5) Writing Plus 1 1
- (6) まとめと復習 1 . 5

5 単元の評価規準

単元名	Unit5 Cell Phones- For or Against Starting Out
題材の目標	現在分詞及び過去分詞による後置修飾の形・意味用法を理解し表現できる。
主な学習活動	現在分詞及び過去分詞による後置修飾の形・意味用法について知る。 現在分詞及び過去分詞による後置修飾の英文を使って話したり、書いたりできる。
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・現在分詞および過去分詞による後置修飾の文を使って積極的に発表したり、話したりしようとする。(関心・意欲) ・現在分詞および過去分詞による後置修飾の文を使って話したり書いたりすることができる。(表現) ・本文の内容を理解できる。(理解) ・電話の歴史について知ることができる。(言語・文化)
評価の方法	観察、自己評価

6 本時の目標

(1) 目 標

- ・現在分詞および過去分詞による後置修飾の文の形・意味を理解し表現できる。

(2) 本時の評価の観点と具体的評価規準

具体的評価規準	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する生徒への手だて
評価の観点 表現の能力(書くこと)	現在分詞および過去分詞による後置修飾の文の構造を理解し身の周りのことについての紹介文を書いている。	現在分詞および過去分詞による後置修飾の文を使って身の周りのことについて書いている。(基本文 2文)	必要に応じて助言する。

(3) 展開

段階	指導内容	学習活動	留意事項(・)評価()手だて()
導入 10分	1 英語の挨拶	・ 元気に挨拶する。	・ しっかりと挨拶ができたかを見る。
	2 Warm-up 既習事項の復習	・ ペアワーク(Q and A)	・ 下位の生徒への支援を行う。 Q and A がいくつできたか自己評価する。
	3 本時の学習課題の提示	・ J E T と A L T との対話を聞き身近な話題を表す英文から情報を得る。	・ 学習課題を生徒と共有する。 ・ 紙板書を使う。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>Goal: 過去分詞や ~ ing 形の文を使って Show and Tell をしよう。</p> </div>			
展開 35分	4 基本文の確認	・ 新出文型の文の構造の説明を聞く。	・ 紙板書で説明をする。
	5 新出文型の説明とパターンプラクティス	・ J E T と A L T の後に続いて口頭練習を行う。	・ 口頭練習は全体 個を意識する。
	6 練習問題	・ ワークシートの問題に取り組む。	・ 机間巡視を行う。
	7 基本文の活用	・ 身の周りのこと(物)を基本文を含めて英文で書く。 ・ 身の周りのこと(物)を基本文を使って話す練習をする。 ・ 友人の発表を聞く。	・ A L T を活用する。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>C 基本文を活用できない。 ワークシートの記入事項を読ませたりしながら、基本文の1つは言えたり、書けるようにさせる。 B 身の周りのこと(物)について基本文を使って、ワークシートに書いている。 今まで習った表現でさらに書くようにする。 A Show and Tell の形式で書いて発表できる。 A L T のチェックを受け、今まで習った表現でさらに書くようにする。</p> </div>
終末 5分	8 自己評価をさせる。 9 課題の確認、次時の予告 10 挨拶	・ 自己評価ノートに記入する ・ 課題と次時の内容を確認する。 ・ 挨拶	学習活動について振り返らせて評価する。 ・ 課題(ワークブック)の指示をする。